

〔 例題 28 〕 果樹の生理障害に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

- 1 . リンゴの粗皮病は、pH7.2 以上のアルカリ性土壌でマンガン欠乏が起こり発生する。
- 2 . リンゴの縮果病は、土壌 pH が低いことでカルシウム欠乏が起こり発生する。
- 3 . ブドウの花振るいは、不受精や受精不完全、養分競合が要因となって発生する。
- 4 . オウトウの双子果は、当年の高温による形態異常である。
- 5 . カンキツの浮き皮は、成熟期の低温低湿条件が発生要因である。

正答：3

〔 例題 29 〕 切り花の老化に関する次の文中のア～エに入るものがいずれも妥当なのはどれか。

切り花の老化は、呼吸の変化と密接な関係がある。呼吸は、花が開き始めた時に最初のピークがみられ、成熟につれて次第に低下した後、比較的短時間に急激な増大がみられる。この第2のピークは、最終的な老化段階が近づいていることを示しており、寿命が尽きるにつれて再び低下する。この間、呼吸基質としての〔ア〕は減少を続ける。呼吸の上昇と相前後して〔イ〕の急増がみられ、その後に老化が急速に進む。花の萎凋を誘導する〔イ〕の生成開始は、〔ウ〕では雌ずいであるのに対して、〔エ〕では雄ずいである。

	ア	イ	ウ	エ
1 .	炭水化物	エチレン	カーネーション	チューリップ
2 .	炭水化物	エチレン	カーネーション	スイートピー
3 .	タンパク質	エチレン	キク	チューリップ
4 .	タンパク質	アブシジン酸	キク	スイートピー
5 .	タンパク質	アブシジン酸	カーネーション	スイートピー

正答：2